

DRECOM

7th Interim
Business Report

2007.4.1~2007.9.30



DRECOM[®]
with entertainment

株式会社ドリコム

<http://www.drecom.co.jp/>



ミッションステートメント

経営理念

ドリコムは高い企画力と技術力をコア・コンピタンスとし、新規事業をインキュベータ的に創出していくことによって、一人でも多くの人々にエンターテインメント性あふれる生活を提供していく企業を目指します。

Vision

私達はこの3つのキーワードをビジョンとして企業活動を行っていきます。

with entertainment ————— 「人々を楽しませること」
always creative, all innovative — 「いつも創造的に、すべて革新的に」
challenge to change ————— 「変化への挑戦」

私達はこの3つを満たすサービスを提供してだけでなく、この3つのイメージに見合う企業になることを目指します。

株主の皆さまへ

with entertainment



代表取締役
内藤裕紀

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。

当社グループ(当社及び当社連結子会社)における2008年3月期中間は、2007年4月に株式会社ジェイケンが当社グループに加わったことにより、前年同期比1.8倍と過去最高の売上高を達成いたしました。

また、営業損益につきましてはシステム外注費の発生に伴う費用の増加により赤字となり、中間純損益は株式会社ドリコムマーケティングの事務所移転に係る特別損失の発生およびドリコムの繰延税金資産の取り崩しにより赤字となりました。

2008年3月期中間の結果を受けまして、当社グループの収益力の強化を図ることを目的とした事業体制の最適化を行います。

収益ビジネスにおいては、当社の基幹ビジネスであるブログ・SNS構築システム製品『ドリコムSNS／ドリコムブログシステム』は開発体制を強化し、社内ブログ(SNS)構築パッケージ『ドリコムブログオフィス』は、2007年8月に資本業務提携したNECネクサソリューションズ株式会社との開発・営業連携を中核として、より一層注力してまいります。

インターネット広告分野は、2007年3月にサービスを開始した『スペースハンター™』の開発・営業体制を強化するとともに新規インターネット広告商材の開発など、投資ビジネスにおいて優先順位を高めます。

また、派遣費用の削減やグループ内人員配置の適正化により、2008年3月期下期で約1億円の費用削減効果を見込んでいます。

上記のように、投資ビジネスにおいて選択と集中を図るとともに収益ビジネスに経営資源を集中させるなど事業体制の最適化を進めることで、当社グループとして売上高の拡大および営業利益の黒字化を目指します。

今後も、「インターネットサービスのものづくり企業」として全社一丸となり収益ビジネスの拡大と新規ビジネスの立ち上げおよび収益化に邁進していきますので、株主の皆さまにおかれましても、何とぞ、一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2007年12月

業績ハイライト

世界に通じるインターネットサービスのものづくり企業へ

2008年3月期中間ハイライト

- 1 2008年3月期中間の業績は、売上高946百万円。営業損失178百万円。中間純損失は352百万円。
- 2 第二四半期の売上高は、前年同期比1.5倍（当第一四半期比1.2倍）で推移。
*株式会社ジェイケン、株式会社ドリコムマーケティングが寄与。
- 3 第二四半期の営業損益は、当第一四半期と比べて赤字幅が152百万円から25百万円に縮小。
*予算計画より遅れはあるものの、収益の改善は進んでいる。
- 4 下期は、事業体制の最適化を行うことで、更なる収益の改善を見込む。
*下期を通じて約100百万円のコスト削減を実施。
- 5 事業体制の最適化に伴い、投資分野を絞り事業展開を行う。
- 6 2007年8月29日に第三者割当増資とファイナンス計画を発表。
*NECネクサソリューションズ株式会社との事業提携の強化、子会社買収資金の借入金の返済に充てる。
- 7 短期借入金を長期借入金に振り替え。

事業体制の最適化

当社グループは、投資ビジネスにおいて選択と集中を図るとともに、収益ビジネスに経営資源を集中させることで収益力を高め、2008年3月期下期で約1億円の費用削減効果を見込みます。

1 ビジネスの選択と集中

- ブログ・SNS構築システム製品「ドリコムSNS／ドリコムブログシステム」は開発体制を強化
- 社内ブログ（SNS）構築パッケージ「ドリコムブログオフィス」は、2007年8月に資本業務提携したNECネクサソリューションズ株式会社との開発・営業連携を中核として、より一層注力
- インターネット広告分野は、新たなビジネスの柱とすべく2007年3月にサービスを開始した広告マーケットプレイス「スペースハンター™」の開発・営業体制の強化。また、新規インターネット広告商材の開発を進めるなど投資活動を強化拡大
- 株式会社ジェイケンは、グループシナジーを活かして着信メロディ配信ビジネスに続く新規ビジネスを開発
- 株式会社ドリコムマーケティングは、グループの営業の柱として更に営業体制を強化
- 株式会社ドリコムジェネレーティッドメディアは、CGM分野への投資を強化

また、収益が見込めないサービス・製品は、新規開発を停止することで開発体制を縮小するとともに、営業体制も縮小します。

2 販売管理費および売上原価の削減

- 派遣費用の削減
- グループ内での人員配置を適正化させることで、各社の新規採用費用を削減
- 株式会社ドリコムマーケティングの事務所移転
- システム外注費の削減

用語の説明

キーワード	説明
CGM	Consumer Generated Mediaの略称。インターネットなどを利用することで、ユーザーが内容を生成するメディア。
SaaS	Software as a Serviceの略称。ユーザが必要とする機能だけを利用できるようにし、インターネット上で利用するソフトウェアの形態。

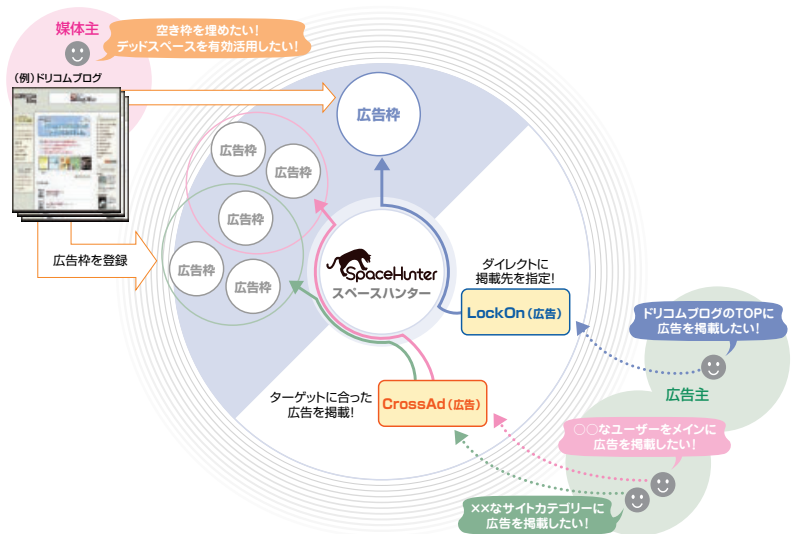


スペースハンター™

無料で広告配信管理が可能な 広告マーケットプレイス

『スペースハンター』は、2007年3月よりサービス提供を開始している、インターネット広告のマーケットです。

Webサイト運営者は、インターネット広告の配信管理コストや営業コストの軽減が図られ、広告主・広告代理店は、広告ターゲットに適したWebサイトに広告を出稿することが可能です。また、当社グループの収入形態としては、『スペースハンター』で売買取引されたインターネット広告の価格から一定の料率を得る手数料収入となっております。



TOPICS

April
4
2007

2007.4

- 株式会社ジェイケンの株式を取得し子会社化

J-KEN

- 株式会社ドリコムジェネレーティッドメディア、ブログの読者向け求人広告掲載サービス「ドリコムジョブボード(B)」が月間1,000万PVを突破



May
5
2007

2007.6

- Webアプリケーションのソフトウェアコンテスト「Drecom Award on Rails 2007」を開催
- ドリコム監修書籍「社内ブログ導入・運用ガイド」(技術評論社)販売開始



June
6
2007

2007.7

- 株式会社ドリコムジェネレーティッドメディア、ブログでつながるコミュニティ「Buco (γ)」(ブコ ガンマ)の提供を開始

July
7
2007

2007.8

- 第三者割当による新株式発行および新株予約権発行・引受契約締結
- NECネクサソリューションズ株式会社と資本業務提携

August
8
2007

2007.9

- 広告マーケットプレイス「スペースハンター™」を一般公開



September
9
2007

営業の概況

2008年3月期中間の状況

当社グループの当中間連結会計期間（2007年4月1日～2007年9月30日）の売上高は前年同期比87.5%増の946百万円、営業損失は178百万円（前年同期は営業利益46百万円）、経常損失は183百万円（前年同期は経常利益57百万円）、中間純損失は352百万円（前年同期は中間純利益36百万円）となりました。

売上高拡大の主要因としましては、2007年4月に子会社化した株式会社ジェイケンならびに当社グループ会社である株式会社ドリコムマーケティングの業績が当初の見通しどおり推移したことによります。

一方、当社は、Webサイト構築・更新システム「ドリコムCMS」のパッケージ版において複数の大型案件を失注したことに伴い、当初見通しに対して売上高が減少いたしました。また、システム外注費の発生および販売管理費の増加により当初見通しに対して費用が増加したことに伴い、営業損失が当初見通しを上回る結果となりました。

なお、株式会社ドリコムマーケティングの事務所移転等に係る特別損失の発生（29百万円）および当社の繰延税金資産（66百万円）を取崩したことに伴い、中間純損失を計上いたしました。

ビジネスソリューション事業では、ブログ・SNS構築システム製品「ドリコムSNS／ドリコムブログシステム」および株式会社ドリコムマーケティングのITインフラの販売が順調に推移いたしました。また、社内ブログ（SNS）構築パッケージ「ドリコムブログオフィス」は、今後の売上高拡大を目指して、NECネクサソリューションズ株式会社との開発・営業連携を進めており、2007年8月に資本業務提携をいたしました。

以上の結果、当事業の売上高は、前年同期の旧ブログ事業と比較した場合4.3%減の463百万円、営業損失は254百万円（前年同期は営業利益73百万円）となりました。

ウェブサービス事業では、株式会社ジェイケンおよび株式会社ドリコムジェネレーティッドメディアが好調に推移いたしました。

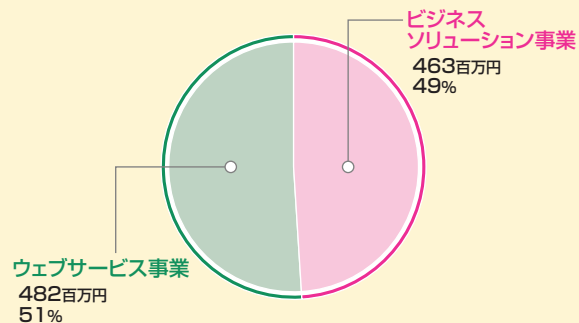
また、インターネット広告分野を新たなビジネスの柱とすべく、2007年3月にサービスを開始した広告マーケットプレイス「スペースハンター™」の開発・営業体制を強化するとともに新規インターネット広告商材の開発を進めるなど投資活動を引き続き強化拡大しております。

以上の結果、当事業の売上高は前年同期の旧検索エンジン事業と比較した場合24.2倍の482百万円、営業利益は76百万円（前年同期は営業損失27百万円）となりました。

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、グループ会社の業績が寄与する見込みのため、連結売上高は前年同期2.6倍の2,200百万円、連結営業利益50百万円（前年同期は営業損失249百万円）、連結経常利益は0百万円（前年同期は経常損失181百万円）、当期純損失は180百万円（前年同期は純損失114百万円）を見込んでおります。

売上高構成比（連結会計期間）



中間連結財務諸表 (要旨)

□ 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第6期中間期 2006年9月30日現在	第7期中間期 2007年9月30日現在	第6期 2007年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	867,912	1,316,502	1,018,156
現金及び預金	412,190	632,743	588,805
受取手形及び売掛金	354,066	493,863	239,390
たな卸資産	2,359	93,296	84,997
繰延税金資産	10,850	24,820	29,814
前払費用	82,592	41,139	61,005
その他	6,953	69,148	21,091
貸倒引当金	△ 1,100	△ 38,508	△ 28,565
固定資産	671,425	1,985,744	1,123,920
有形固定資産	58,131	64,700	56,615
無形固定資産	145,557	1,744,577	792,711
投資その他の資産	467,735	176,466	274,593
資産合計	1,539,337	3,302,246	2,142,077

科目	第6期中間期 2006年9月30日現在	第7期中間期 2007年9月30日現在	第6期 2007年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	169,955	2,111,646	896,119
固定負債	1,416	16,499	—
負債合計	171,371	2,128,146	896,119
(純資産の部)			
株主資本	1,269,059	1,014,053	1,118,850
資本金	403,176	527,239	403,413
資本剰余金	644,156	768,219	644,393
利益剰余金	221,725	△281,405	71,044
評価・換算差額等	2,107	24,050	△ 2,462
少数株主持分	96,798	129,146	129,569
純資産合計	1,367,966	1,174,100	1,245,957
負債・純資産合計	1,539,337	3,302,246	2,142,077

□ 中間連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第6期中間期	第7期中間期	第6期
	2006年4月1日～ 2006年9月30日	2007年4月1日～ 2007年9月30日	2006年4月1日～ 2007年3月31日
売上高	504,672	946,457	843,297
売上原価	147,191	415,478	326,795
売上総利益	357,480	530,978	516,502
販売費及び一般管理費	311,117	708,988	765,724
営業利益又は営業損失(△)	46,363	△ 178,009	△ 249,222
営業外収益	14,873	14,210	73,987
営業外費用	3,624	19,921	5,847
経常利益又は経常損失(△)	57,611	△ 183,720	△ 181,081
特別損失	—	29,954	—
税金等調整前中間純利益 又は中間(当期)純損失(△)	57,611	△ 213,675	△ 181,081
法人税、住民税及び事業税	24,682	76,497	9,178
法人税等調整額	△ 205	62,700	△ 69,484
少数株主損失	3,201	423	6,430
中間純利益又は中間(当期)純損失(△)	36,336	△ 352,449	△ 114,345

□ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第6期中間期	第7期中間期	第6期
	2006年4月1日～ 2006年9月30日	2007年4月1日～ 2007年9月30日	2006年4月1日～ 2007年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 73,794	△ 87,678	△ 190,650
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 563,401	△ 1,080,721	△ 970,404
財務活動によるキャッシュ・フロー	91,002	1,212,338	791,474
現金及び現金同等物の増減額	△ 546,193	43,937	△ 369,579
現金及び現金同等物の期首残高	958,384	588,805	958,384
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	412,190	632,743	588,805

□ 中間連結株主資本等変動計算書

第7期中間期 (2007年4月1日～2007年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等		新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計			
平成19年3月31日残高	403,413	644,393	71,044	1,118,850	△ 2,462	△ 2,462	—	129,569	1,245,957
中間連結会計期間中の変動額									
新株の発行	123,826	123,826	—	247,652	—	—	—	—	247,652
中間純損失	—	—	△ 352,449	△ 352,449	—	—	—	—	△ 352,449
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	26,512	26,512	6,850	△ 423	32,939
中間連結会計期間中の変動額合計	123,826	123,826	△ 352,449	△ 104,796	26,512	26,512	6,850	△ 423	△ 71,856
平成19年9月30日残高	527,239	768,219	△ 281,405	1,014,053	24,050	24,050	6,850	129,146	1,174,100

中間単体財務諸表 (要旨)

□ 中間貸借対照表

(単位：千円)

科目	第6期中間期 2006年9月30日現在	第7期中間期 2007年9月30日現在	第6期 2007年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	762,063	716,653	793,247
固定資産	687,534	2,441,565	1,214,076
資産合計	1,449,597	3,158,218	2,007,323
(負債の部)			
流動負債	170,240	2,051,999	860,445
固定負債	1,416	16,499	—
負債合計	171,657	2,068,499	860,445
(純資産の部)			
株主資本	1,275,832	1,058,818	1,149,340
資本金	403,176	527,239	403,413
資本剰余金	644,156	768,219	644,393
利益剰余金	228,499	△ 236,640	101,534
評価・換算差額等	2,107	24,050	△ 2,462
純資産合計	1,277,940	1,089,718	1,146,878
負債・純資産合計	1,449,597	3,158,218	2,007,323

□ 中間損益計算書

(単位：千円)

科目	第6期中間期 2006年4月1日～ 2006年9月30日	第7期中間期 2007年4月1日～ 2007年9月30日	第6期 2006年4月1日～ 2007年3月31日
売上高	503,782	340,061	800,416
売上原価	147,191	260,190	318,166
売上総利益	356,590	79,871	482,250
販売費及び一般管理費	298,228	345,937	654,713
営業利益又は営業損失(△)	58,362	△266,065	△ 172,463
営業外収益	15,732	12,037	43,259
営業外費用	3,174	17,548	5,397
経常利益又は経常損失(△)	70,920	△271,576	△ 134,600
特別損失	—	—	—
税引前中間純利益又は 中間(当期)純損失(△)	70,920	△271,576	△ 134,600
法人税、住民税及び事業税	24,500	1,388	5,663
法人税等調整額	5,183	65,209	△ 54,536
中間純利益又は中間(当期)純損失(△)	41,236	△338,174	△ 85,728

□ 中間株主資本等変動計算書

第7期中間期 (2007年4月1日～2007年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					株主資本 合計	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計					
平成19年3月31日残高	403,413	644,393	644,393	101,534	101,534	1,149,340	△ 2,462	△ 2,462	—	1,146,878
中間会計期間中の変動額										
新株の発行	123,826	123,826	123,826	—	—	247,652	—	—	—	247,652
中間純損失	—	—	—	△ 338,174	△ 338,174	△ 338,174	—	—	—	△ 338,174
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	26,512	26,512	6,850	33,362
中間会計期間中の変動額合計	123,826	123,826	123,826	△ 338,174	△ 338,174	△ 90,522	26,512	26,512	6,850	△ 57,159
平成19年9月30日残高	527,239	768,219	768,219	△ 236,640	△ 236,640	1,058,818	24,050	24,050	6,850	1,089,718

株式情報・会社概要

■株式の状況 (2007年9月30日現在)

発行可能株式総数 ————— 43,520株
 発行済株式の総数 ————— 20,903株
 株主数 ————— 1,820名

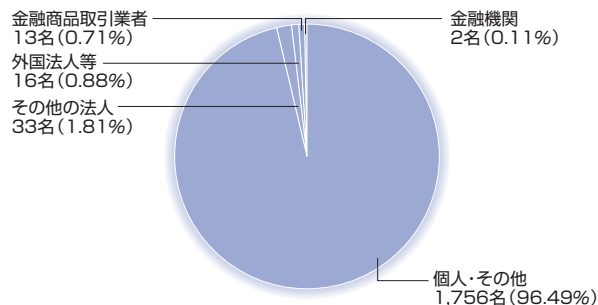
■大株主 (上位10名) (2007年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
内藤裕紀	11,540	55.2
廣瀬敏正	1,344	6.4
安藤正樹	1,184	5.7
井上陽平	1,184	5.7
ドイツ銀行ロンドン支店	300	1.4
浅井一希	224	1.1
NECネクサソリューションズ株式会社	200	1.0
小上勝造	185	0.9
齊藤雄介	160	0.8
池田貴紀	128	0.6

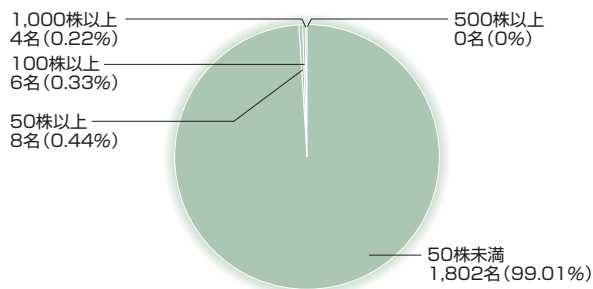
■会社概要 (2007年9月30日現在)

商号 株式会社ドリコム
 本社所在地 〒150-0013
 東京都渋谷区恵比寿一丁目23番23号 恵比寿スクエア4F
 創立 2001年11月13日
 資本金 527百万円
 代表取締役 内藤 裕紀
 従業員数 連結232名 (正社員204名 契約・アルバイト28名)
 単体140名 (正社員121名 契約・アルバイト19名)
 主な事業内容 ①コンピューターシステムの設計、開発、製造、販売及び制作の請負
 ②インターネットホームページ制作及び販売
 ③インターネットを利用した情報提供サービス

◆所有者別株主数分布状況



◆所有数別株主数分布状況



■役員 (2007年9月30日現在)

代表取締役	内藤 裕紀
取締役	安藤 正樹
取締役	新井 元典
取締役	造田 洋典
監査役	南 敬三
監査役	山地 義之
執行役員	廣瀬 敏正
執行役員	長谷川 敬起

■連結子会社 (2007年9月30日現在)

- 株式会社ジェイケン
- 株式会社ドリコムテック
- 株式会社ドリコムジェネレーティッドメディア
- 株式会社ドリコムマーケティング

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	(住所変更等用紙のご請求) ☎ 0120-175-417 (その他のご照会) ☎ 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
同取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
公告方法	電子公告 http://www.drecom.co.jp/ir/kessan/ (但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。)
上場金融商品取引所	東証マザーズ

ホームページ/IR情報のご案内

当社に関する最新動向や情報をお伝えしております。



<http://www.drecom.co.jp/>

株主さま向け
アンケート

株主の皆さまの声を お聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、下記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 3793

携帯電話からもアクセスできます



QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本ビジネスレポートがお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で簿籍(図書カード500円)をプレゼントさせていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主サーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.e2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主サーチ事務局」
TEL: 03-5777-3900 (平日10:00~17:30)
MAIL: info@e-kabunushi.com